



平成20年12月17日

各 位

上場会社名 トーカロ株式会社  
 代表者 代表取締役社長 町垣 和夫  
 (コード番号 3433)  
 問合せ先責任者 専務取締役 太田 義人  
 管理本部長  
 (TEL 078 411 5561)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年8月5日に公表した平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の連結業績予想および平成20年5月13日に公表した平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の個別業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	24,500	4,333	4,300	2,540	163.73
今回修正予想(B)	23,000	2,980	3,000	1,688	109.47
増減額(B-A)	1,500	1,353	1,300	852	
増減率(%)	6.1	31.2	30.2	33.5	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	24,359	4,684	4,772	2,838	179.85

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,630	4,682	4,656	2,793	179.21
今回修正予想(B)	21,200	2,830	2,870	1,662	107.79
増減額(B-A)	1,430	1,852	1,786	1,131	
増減率(%)	6.3	39.6	38.4	40.5	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	22,503	4,465	4,587	2,788	176.67

## 修正の理由

米国に端を発した金融危機が全世界に波及し、实体经济に大きな影響を及ぼしつつあります。当社におきましては、今期第3四半期に入り月次ベースで11月までは比較的堅調に推移しておりましたが、最近に至り受注環境が急速に悪化しつつあり、当期予想を下方修正いたします。

連結業績につきましては、売上高は当初から下期は上期に比べ若干増加するものと予想しておりましたが、溶射加工部門の主力である半導体・液晶分野向けがデバイスメーカーの設備投資抑制に伴い、製造装置メーカーの受注が減少すること、周辺加工部門で各部門にわたり受注減少が予想されることなどの要因により、第4四半期に向けて急速に落ち込み、通期では15億円の減少となる見込みであります。

利益面では、今後設備投資計画の見直しやコスト削減の強化を実施いたしますものの、売上高の減少、品種構成差および退職年金資産の評価損等により経常利益、当期純利益ともに大幅な減益となる見込みであります。個別業績についても同様であります。

なお、今期配当予想につきましては、期末配当1株当たり22円50銭(既に実施済みの中間配当と合わせて通期で45円)は変更ありません。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績は今後の様々な要因により異なる可能性があることにご留意ください。

以上